

提案者

事業分野

鳥取県

移動革命の実現、快適なインフラ・まちづくり、SIP等の活用

背景・課題

目指す
将来像

- GISによるビッグデータの蓄積と活用を核とし、i-Constructionの深化、老朽化する社会基盤の機能確保、公共交通の利便性向上、地域コミュニティ防災を実現

解決すべき
課題

- 橋梁や水門、樋門等のインフラ老朽化が進んでおり、維持管理・更新費は建設投資の27%(平成27年)を占め、なお増加傾向
- 積雪期の除雪作業において平成29年豪雪では智頭町で交通途絶が発生する等、自然災害に対するマンパワー不足が顕在化
- 人口の希薄化に伴う、路線バスやタクシーの担い手減少による公共交通サービスの低下が、定住環境に影響

2020年度までの事業内容

○事業:「SIP等の活用」による「快適なインフラ・まちづくり」

活用技術

事業概要

インフラ等
データ管理
分析

- SIP開発の道路インフラ維持管理システムを河川海岸砂防インフラに拡張し、住民通報と補修状況のGIS掲載、IoTネットワークによる損傷検出、点検補修を担う人材育成等により、地域のインフラ機能を確保
- 鳥取県防災情報等の各種防災情報を一元化したGISシステム構築により、避難準備、避難行動を支援
- 気象データと除雪作業の蓄積と分析による、除雪ルート及び機械配置等のオペレーションを最適化
- ICT活用を推進するとともに、タブレット等のIoT配備、電子情報連系のプラットフォーム構築等により、建設生産体制を改善し、魅力ある地域産業へ転換



現場管理へのタブレット活用



インフラ維持管理



適切な避難行動支援

○事業:「SIP等の活用」による「移動革命の実現」

活用技術

事業概要

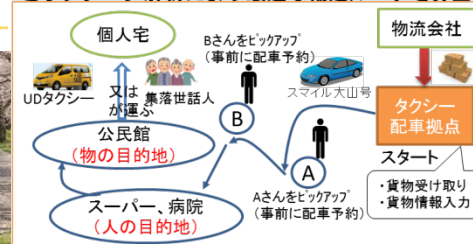
インフラ等
データ管理
分析

- SIPで開発したGISとデータベースを拡張したプラットフォームのうえに、公共交通サービスの運行・予約管理システムを構築するとともに、IoTネットワークを活用した配車計画の策定機能や運行情報サービスを提供



デマンド型乗合タクシー

ビッグデータ解析により最適な輸送ルートを算出



公共交通サービスの向上